



JV33Series



JF-1631



Textile Jet
Tx3-1600

個人投資家向け会社説明会
平成21年1月27日(火)
(株)ミマキエンジニアリング



証券コード:6638



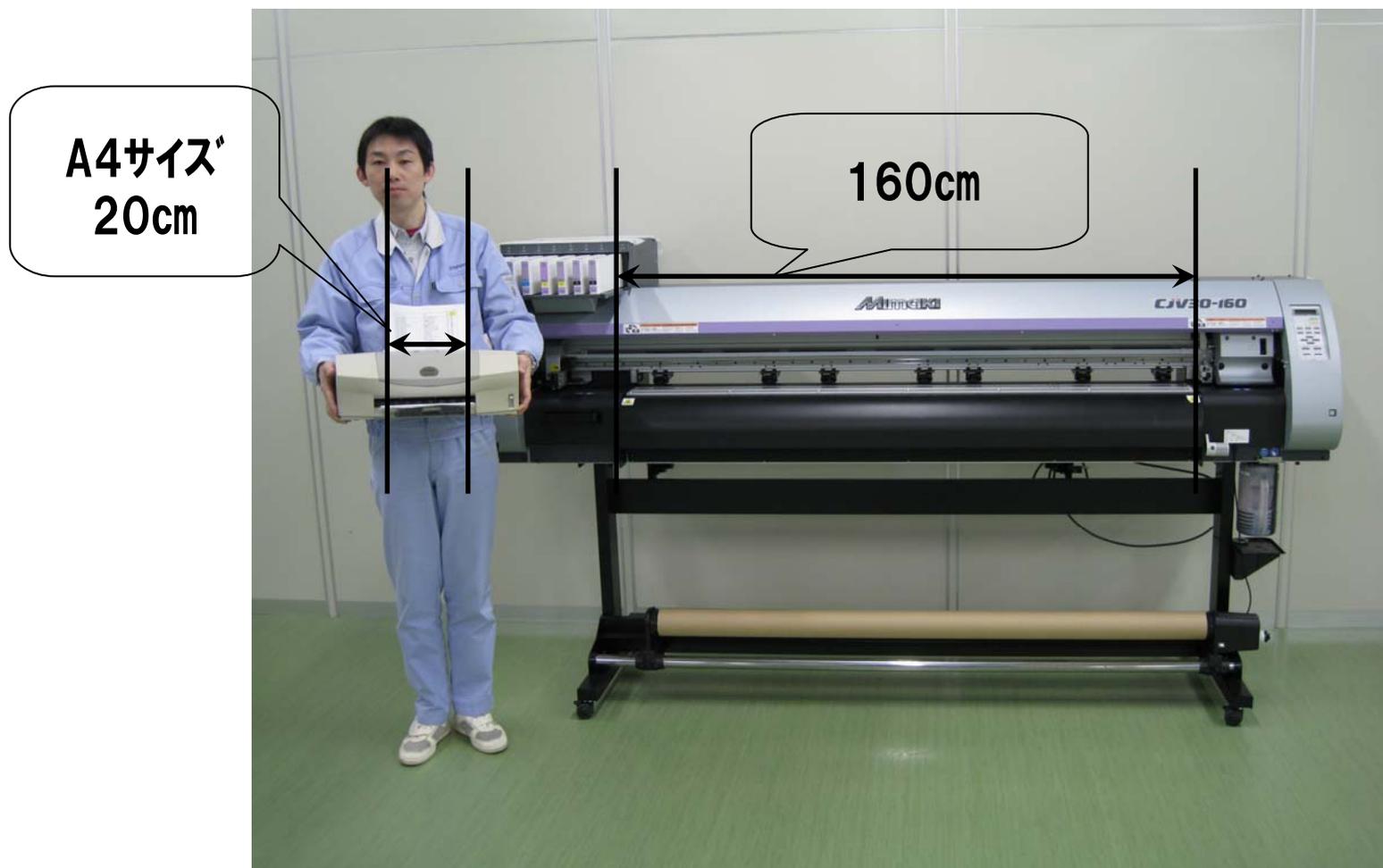
目次

当社のご紹介	P.2
当社の事業概要	P.10
成長戦略	P.16
参考資料	P.27

当社のご紹介

ミマキエンジニアリングは
業務用広幅インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ等
の開発・製造・販売を一貫して行う**開発型メーカー**です。

当社製品と家庭用プリンタの大きさを比べてみました・・・



業務用広幅インクジェットプリンタとは・・・

	主な用途	主なプリンタ	主な製造メーカー	特長
家庭向け	年賀状、写真、文書等の印刷	水性IJP(一部顔料IJP)	エプソン、キヤノン、HP	価格安い、小型
オフィス向け	社内書類等の印刷	レーザープリンタ、水性IJP	エプソン、キヤノン、リコー、HP	価格中位、中型
業務向け	広告・看板、インパネ、サンプル作成、布地等への印刷	ソルベント、UV、水性等様々なインクを使用するIJP	ミマキ、武藤工業、ローランドD.G.、HP	価格高い、大型(主に1.3~3.2m)、プロ向け

(注)記載内容は全て当社推定による。

IJP:インクジェットプリンタの略。

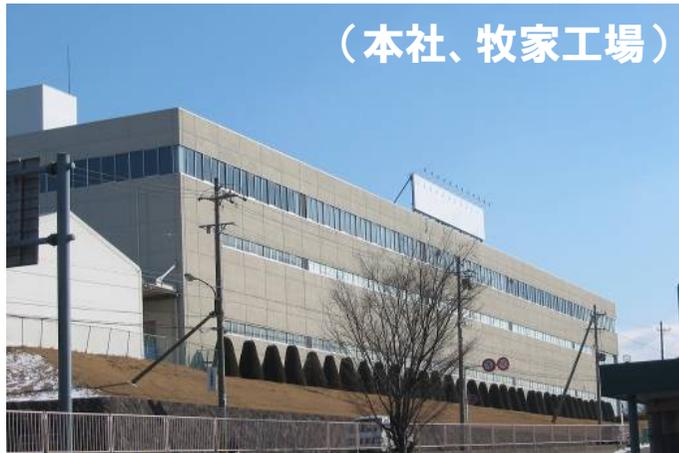
ソルベントインク:顔料を揮発性の溶剤に分散したもの。水に強く長持ちするため屋外に置く印刷物向けに使用される。

UVインク :紫外線を当てると固まるインク。自然にやさしく、素早く固まるためプラスチック等にプリント可能。

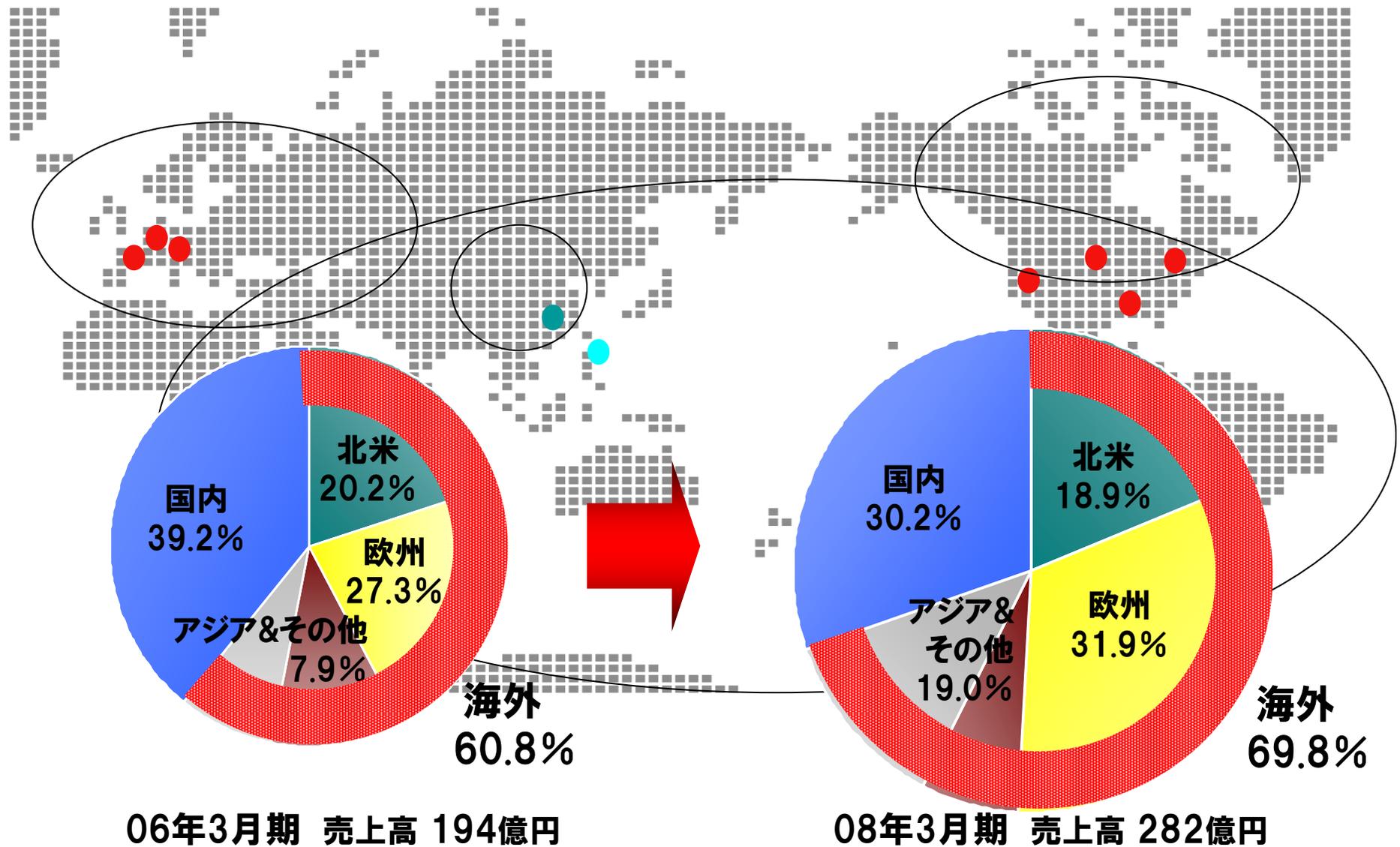
1. プロフィール

商号	株式会社ミマキエンジニアリング
設立	1975年8月
資本金	2,015百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3
代表者	代表取締役社長 池田 明
従業員数	744名 *2008年9月30日現在 連結人員
グループ会社	販売会社 3社（アメリカ、オランダ、ドイツ） 開発、生産会社 4社（国内2社、台湾、中国） プリントサービス会社 1社（国内）

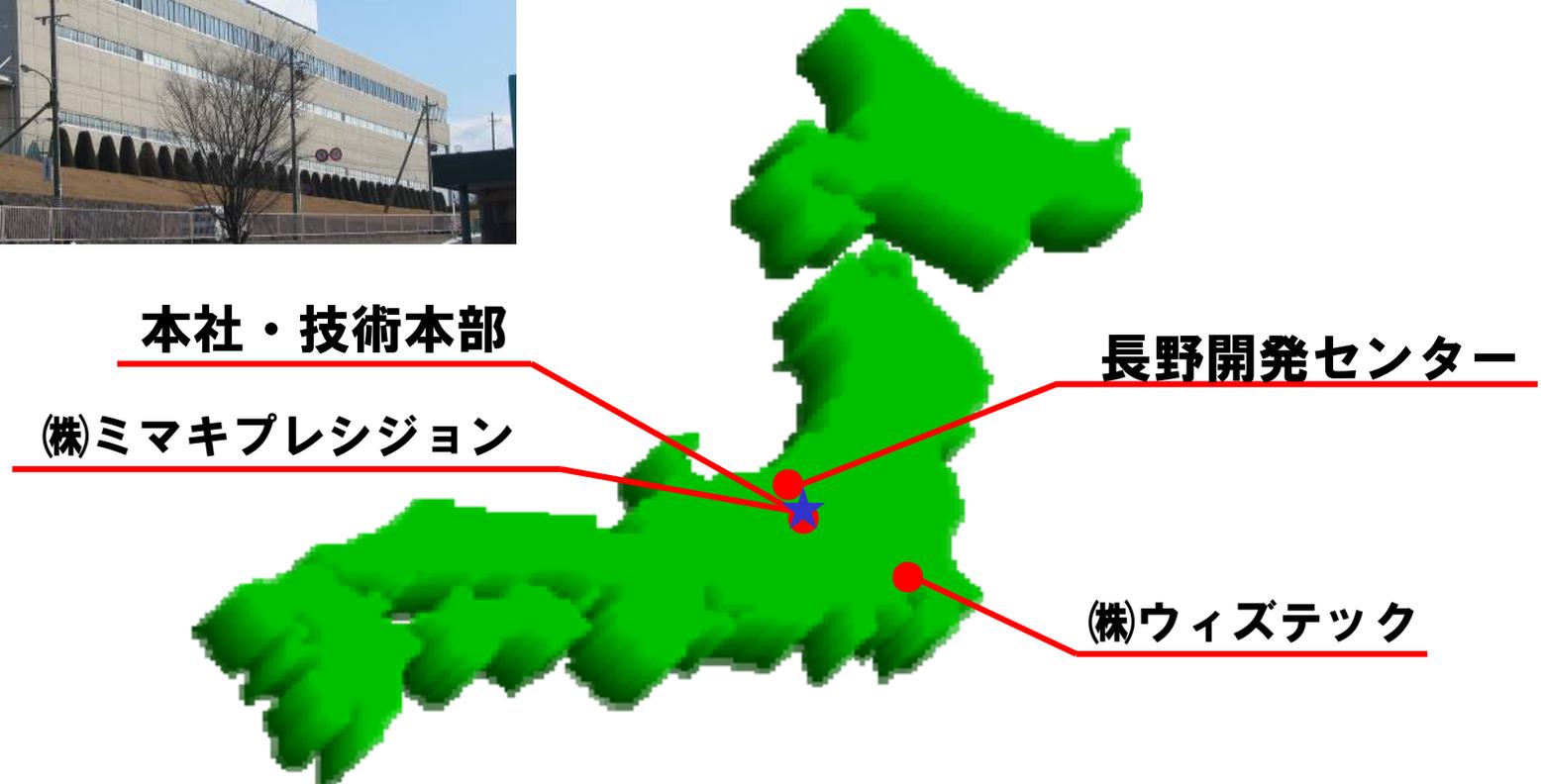
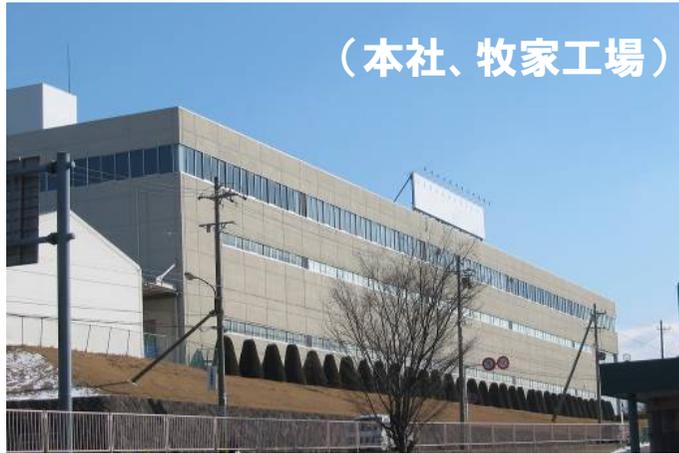
2-1. 国内販売ネットワーク(10拠点)



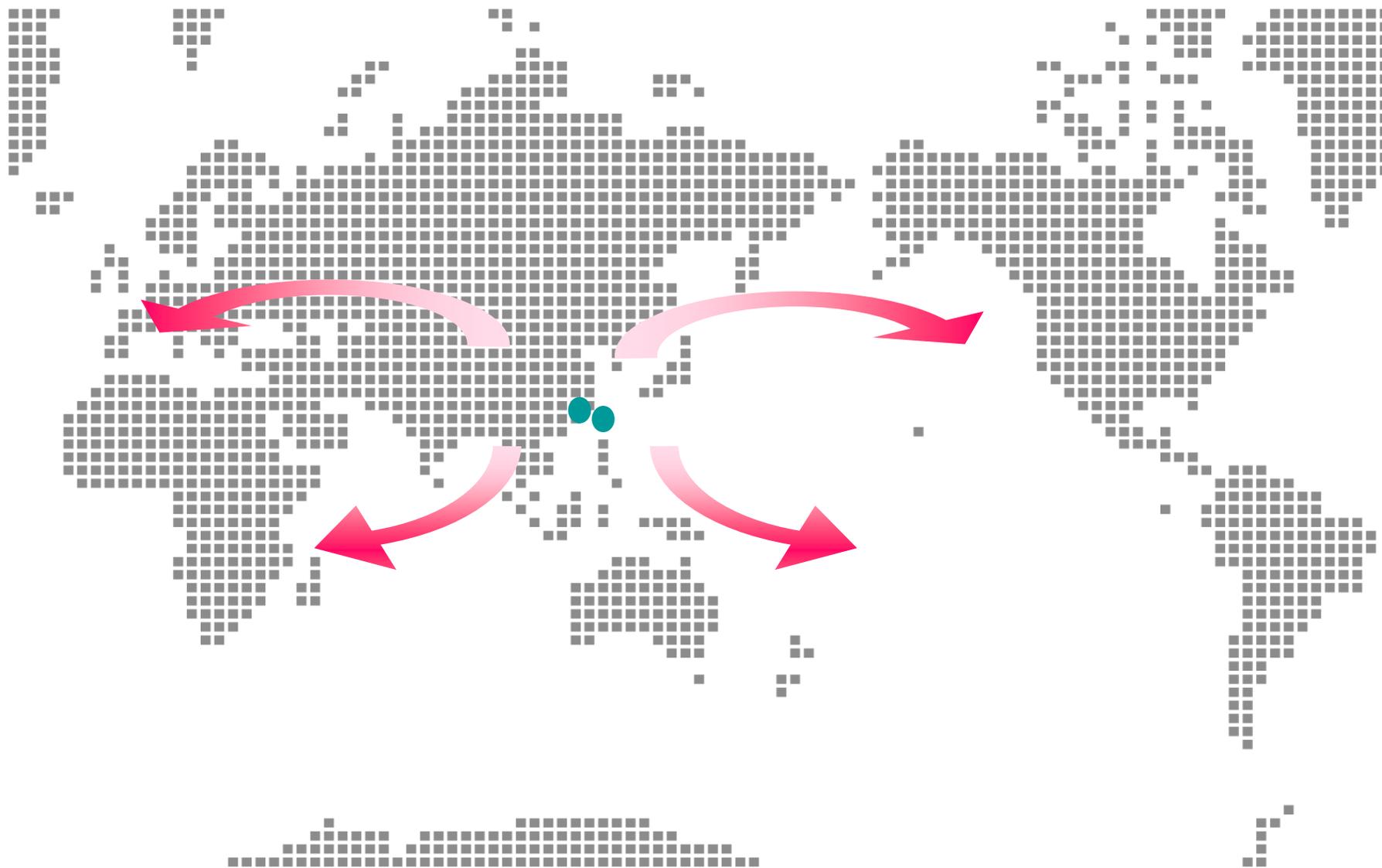
2-2. 海外販売ネットワーク(9拠点)



3-1. 国内開発・製造(4拠点)



3-2. 海外開発・製造(2拠点)



当社の事業概要

4. 事業概要

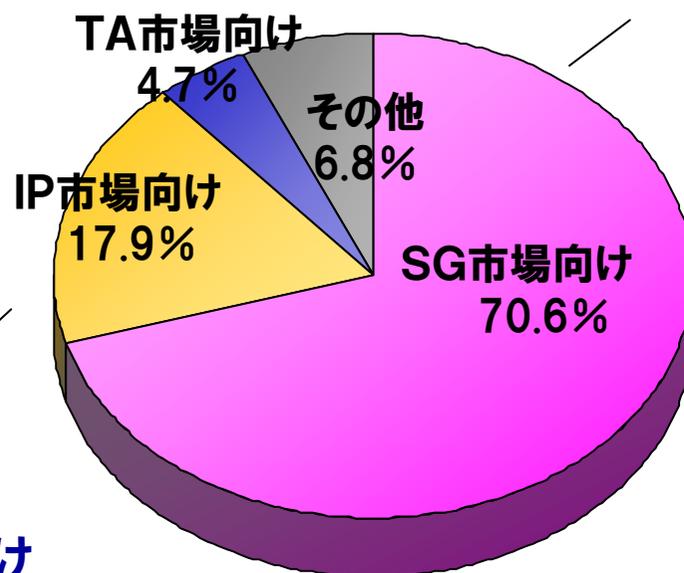
インクジェットプリンタとカッティングプロッタの技術を基に
3つの販売市場で営業展開

TA(布地・衣類)市場向け
布地印刷やTシャツ、スカーフ、ネクタイ
へのプリント等



IP(産業用途)市場向け
プリントラベル、IDカード、自動車のインパネ等

SG(広告・看板)市場向け
標識、表示、ディスプレイ、看板等



【 08年3月期 連結売上高 282億円 】

4-1. SG(広告・看板)市場向け

- **主な用途:** 屋内・屋外における標識、表示、ディスプレイ、看板等の製作。
速度、画質、耐候性、コストのトータル性能が必要。
- **主要製品:** 広幅インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ

インクジェットプリンタ

JV5 シリーズ



CJV30 シリーズ



JV33 シリーズ



UVJ シリーズ



カッティングプロッタ

CG-FX II シリーズ



ソフトウェア

Raster Link Pro 4 SG Fine Cut

インク

水性・・・顔料/昇華転写/染料
ソルベント/エコソルベント

4-2. IP(産業用途)市場向け

- 主な用途: プリントラベル、IDカード、自動車のインパネ等の製作。
クイックレスポンスと環境適合性、高い安全性。
- 主要製品: UV硬化インクジェットプリンタ、フラットベッドカッティングプロッタ
(各種生産現場で製造ラインに組み込まれて使用される)

フラットベッドインクジェットプリンタ

JF-1631



UVF-605CII



IPF シリーズ



UVF-605RII



フラットベッドカッティングプロッタ

CF3 シリーズ



CF2 シリーズ



ソフトウェア

Raster Link Pro 4 IP

CAM Link

インク

水性顔料

UV硬化インク

ソルベント

4-3. TA(布地・衣類)市場向け

- **主な用途:** 布地印刷やTシャツ、スカーフ、ネクタイへのプリント等。
サンプル作成や少量多種生産等クイックレスポンスに対応。
ダイレクトプリントの実現、高画質、色・デザインの高い表現力。
- **主要製品:** 捺染顔料インクジェットプリンタ、デジタル捺染インクジェットプリンタ

インクジェットプリンタ

TX3-1600



DS series



GP-604D



TX2-1600



GP-1810D



ソフトウェア

Tx Link Raster Link Pro 4 TA

インク

水性・・・反応/酸性/分散 捺染顔料/昇華転写

4-4. 当社製品の用途例まとめ

SG(広告・看板)市場向け



IP(産業用途)市場向け



皆さんの身近に
当社製品を使って作られた物が
あるかもしれません。

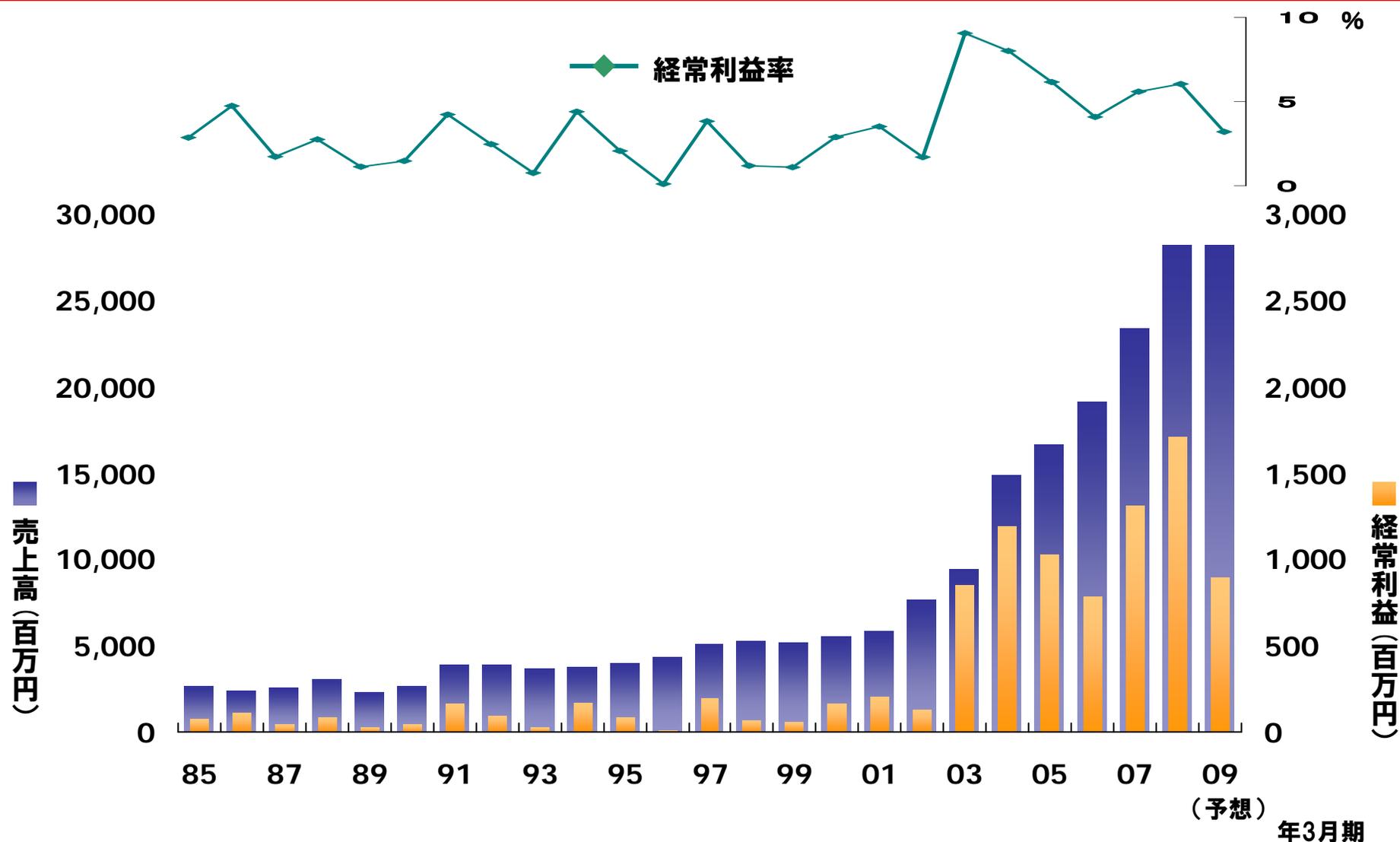


TA(布地・衣類)市場向け



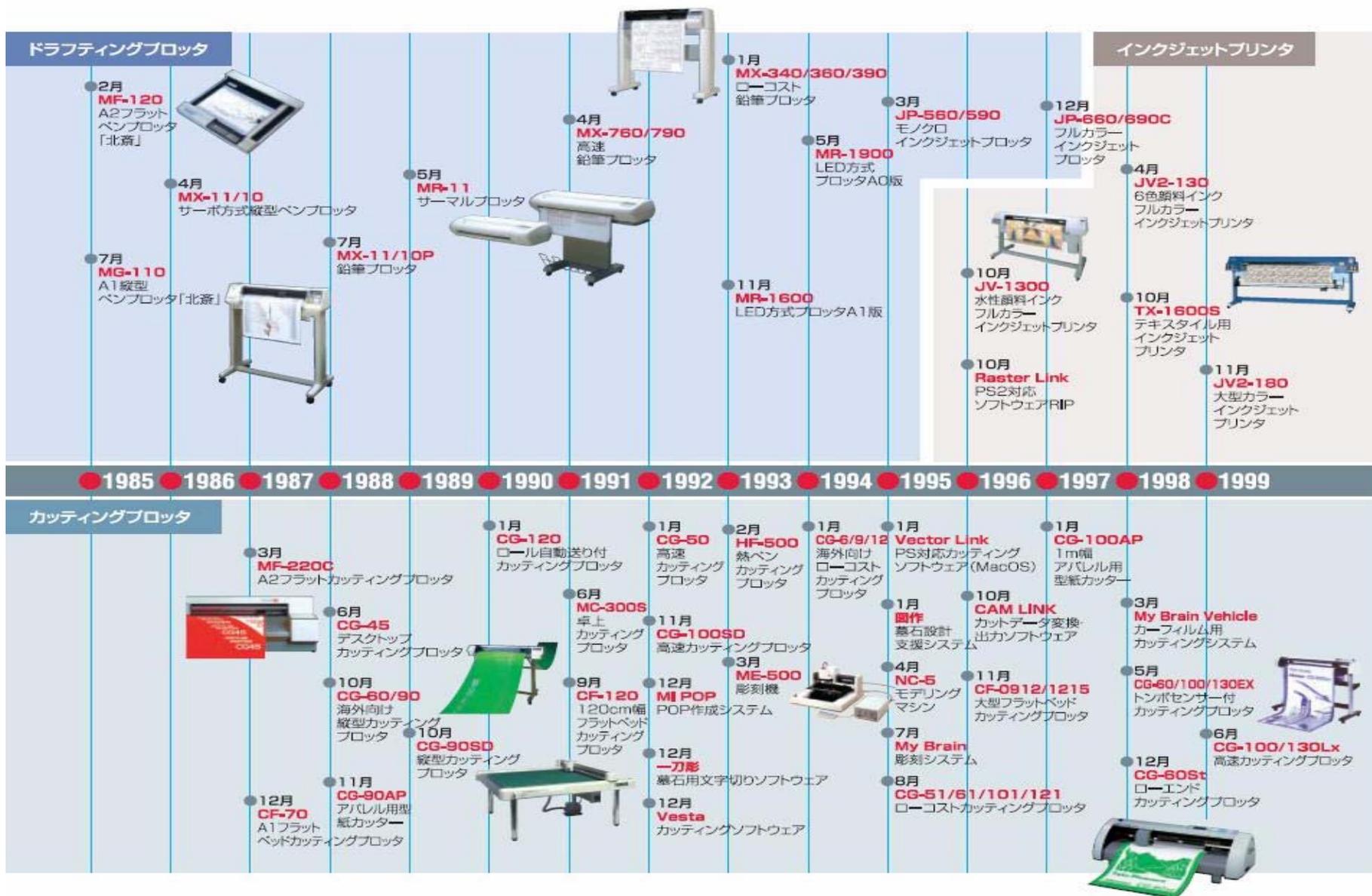
成長戦略

5. 売上高推移



(注)予想は、平成20年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。

6-1. 製品開発史

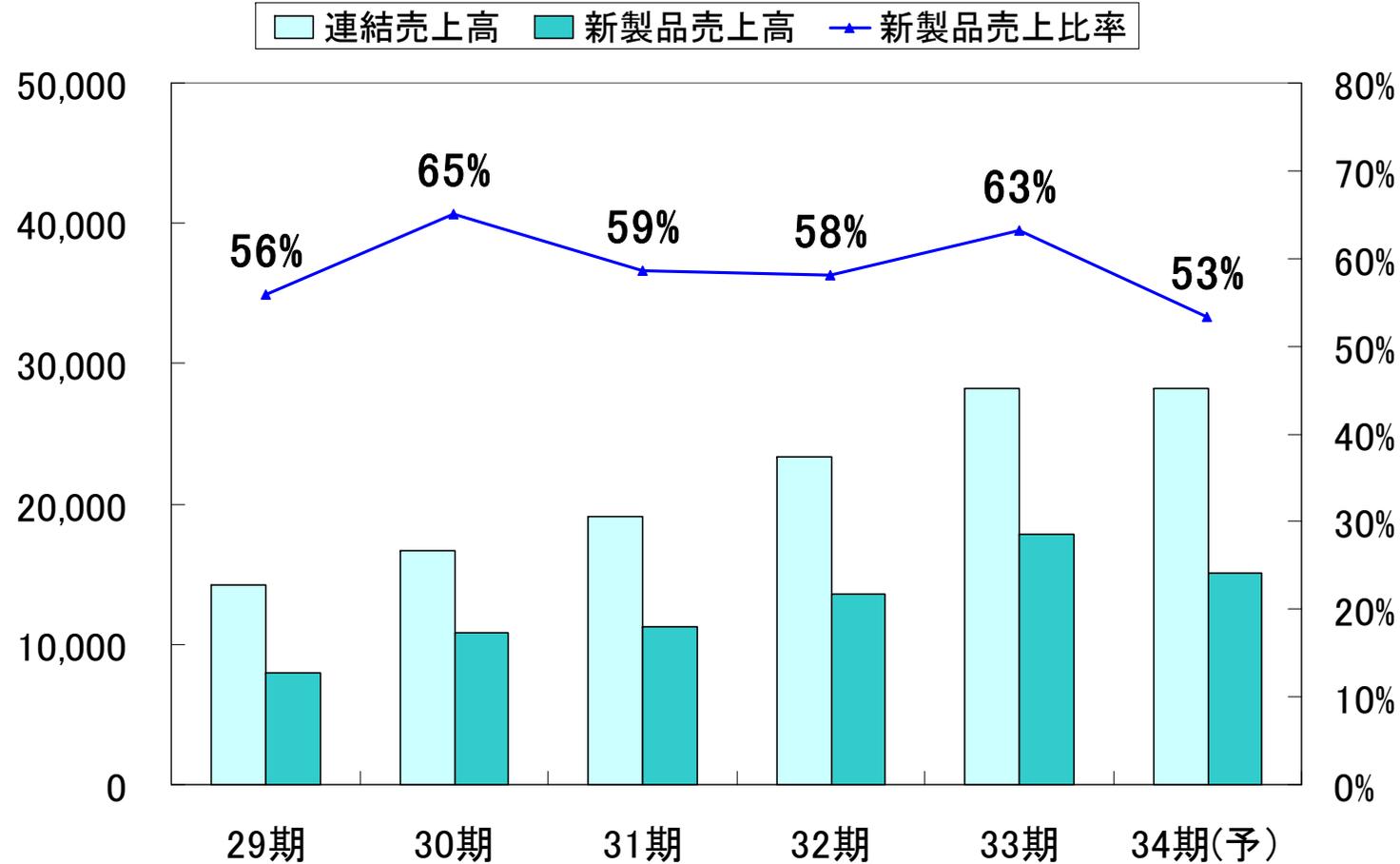


6-2. 製品開発史



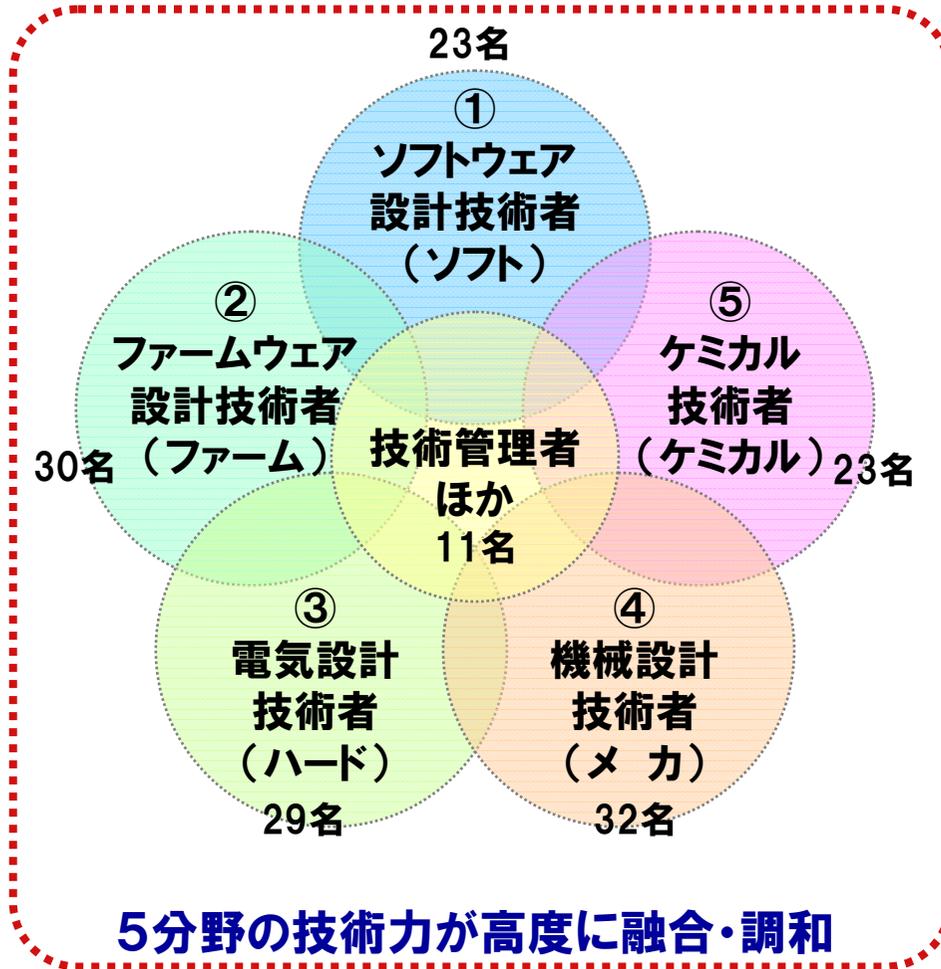
7. 発売後2年以内商品売上高比率

(注)34期予想は、平成20年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。



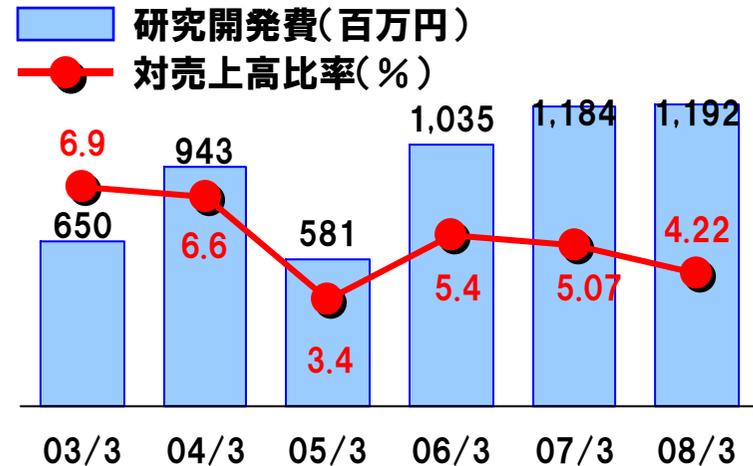
- (注)1. 29期は単体、30期以降は連結
2. 33期までは当社集計数値、34期は当社予想数値

8. Mimakiの開発力

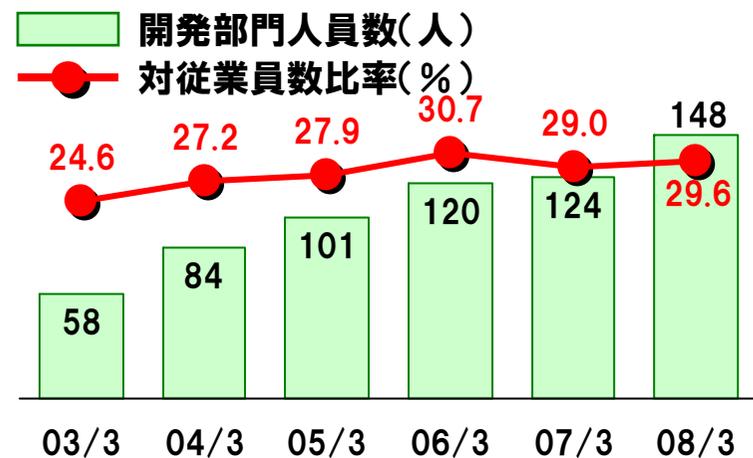


「速く・美しい」プリント結果の実現

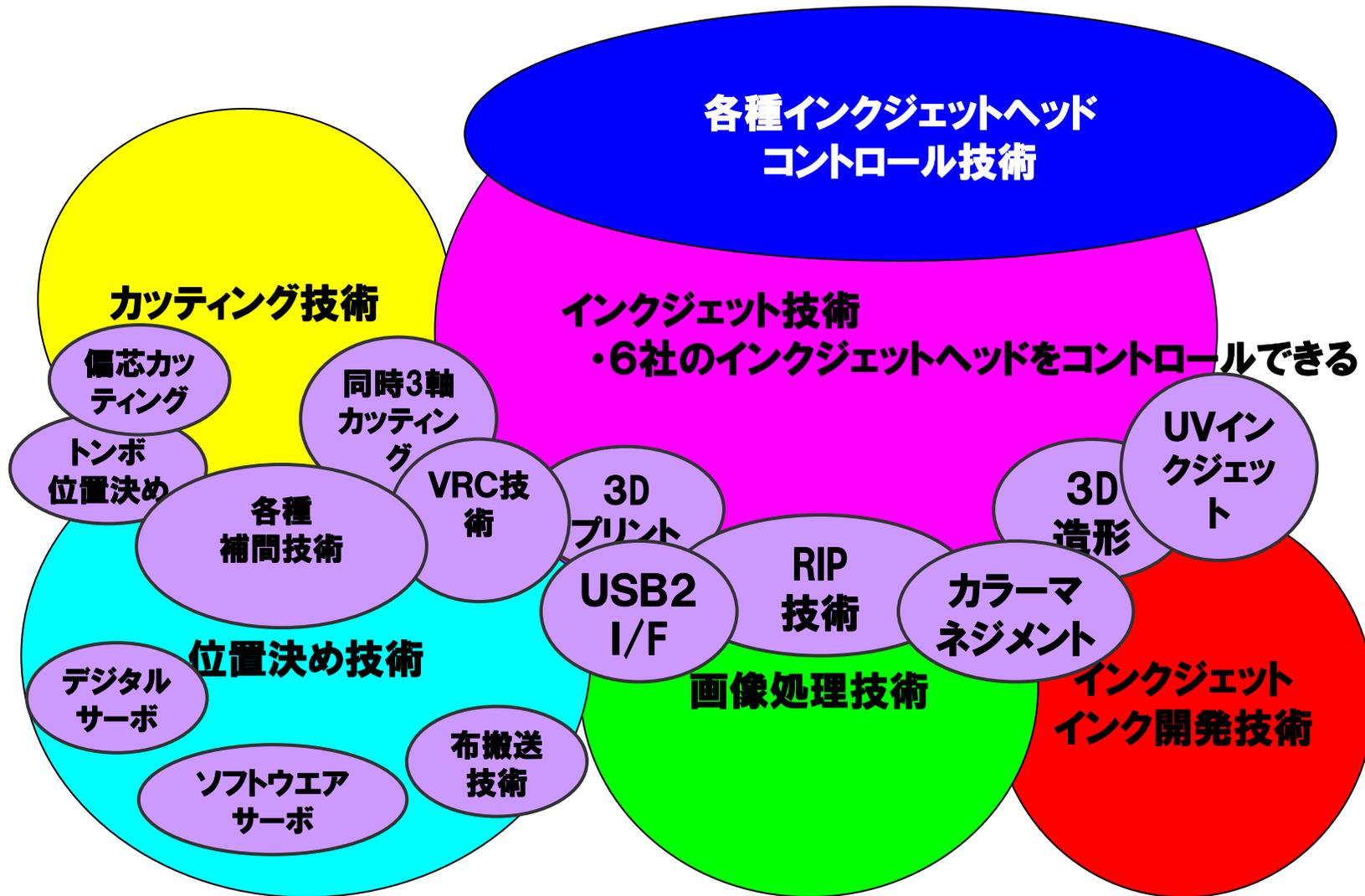
積極的な開発投資(04/3まで単体、以降連結)



30%の人材を開発部門へ(単体ベース)



9. Mimakiのコア技術



10-1. デジタル化によるインクジェットプリンタの可能性

- アナログからデジタルへの流れ
- 大量生産から少量多品種生産への流れ
- 消費者ニーズの多様化

	アナログ時代	デジタル時代
看板業界では...	看板職人による手書き 	IJPによる写真画質 
スクリーン業界では...	色数分版の作成が必要 色数分の印刷繰り返し ⇒大量生産向き 	デジタルで版の作成不要 1回で印刷可能 世界のどこでも同じ品質 ⇒サンプル作成、少量多品種生産向き

10-2. デジタル化によるインクジェットプリンタの可能性

インクジェットプリンタならこんな事も可能に・・・

オンデマンド(必要な時に必要なだけ)生産

お客様のニーズに合わせて、沢山の種類の携帯
パネルを用意したい・・・



アナログ時代

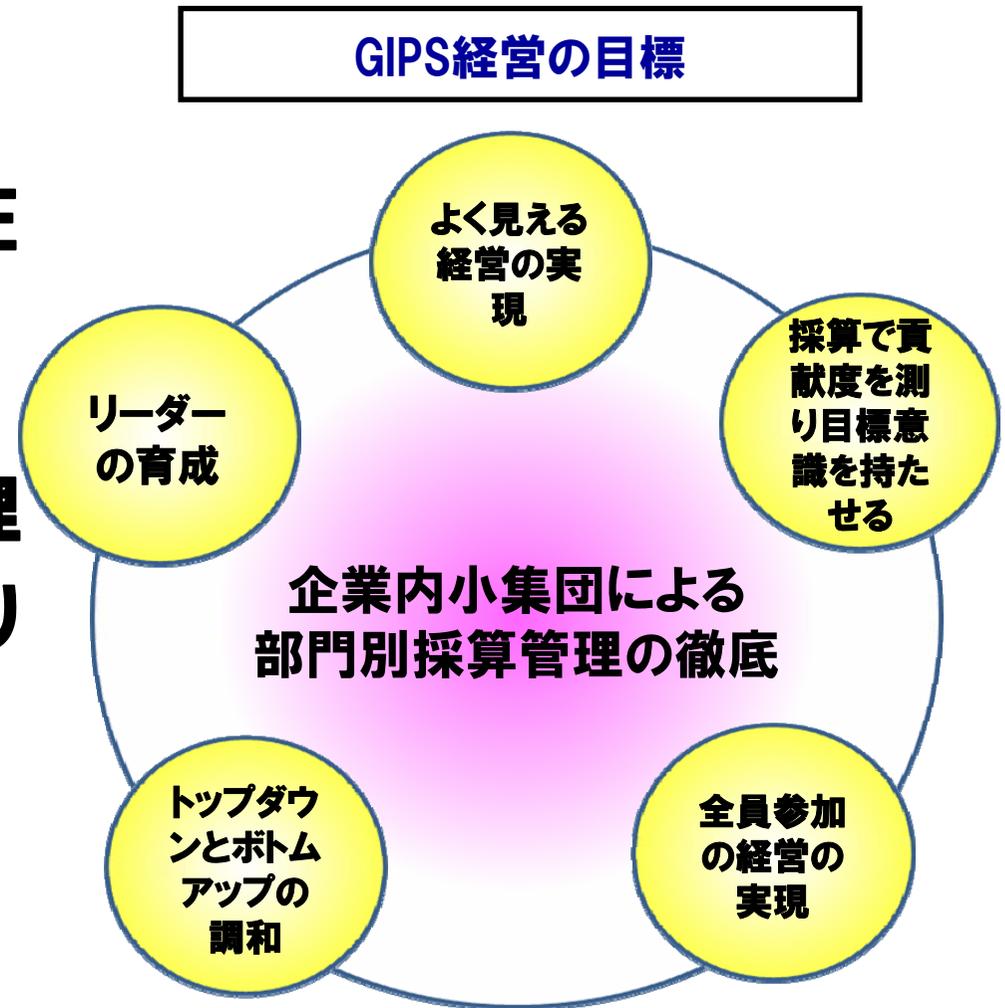
どれがどの位売れるのか分からないため、それぞれの種類を大量印刷し、在庫として持たざるを得ない。
⇒欠品の可能性、売残りによる無駄が生じる可能性。

デジタル時代

無地のまま在庫しておき、お客様から注文があった時に必要な分だけ印刷する。
⇒オンデマンド(必要な時に必要なだけ)生産
無駄が生じにくく、環境に優しい。

11. Mimakiの経営管理体制

- **グループ別独立採算管理 (GIPS経営)**
- **ERPを中心とした基幹系システムを構築(ORACLE EBS)⇒J-SOXに対応できるシステム**
- **新製品開発プロセス管理 ⇒6つのプロセスに区切り開発ステップを管理**



ご静聴ありがとうございました。

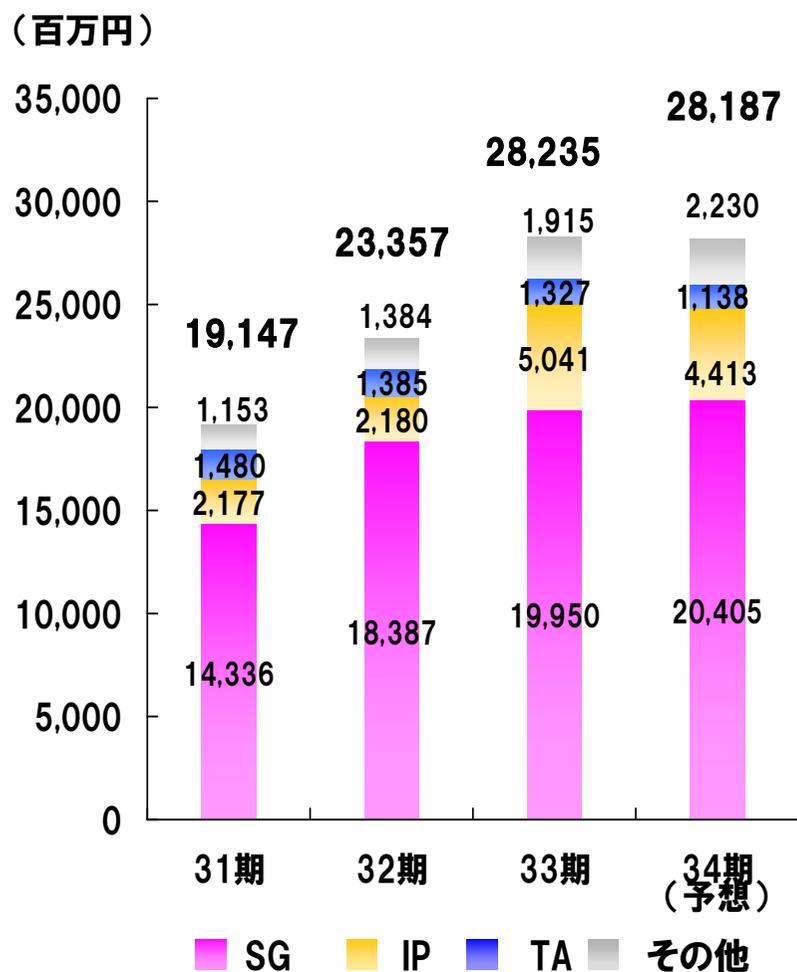


参考資料

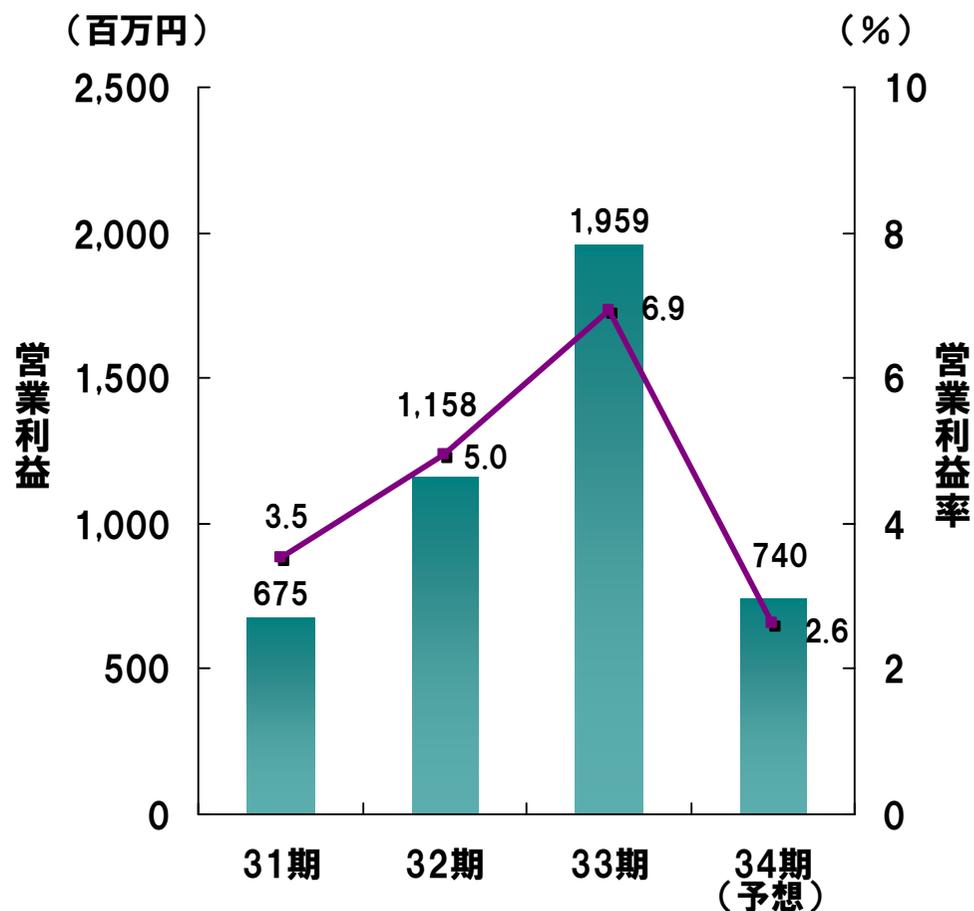
(参考) 今期の予想

(注)34期予想は、平成20年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。

【売上高】



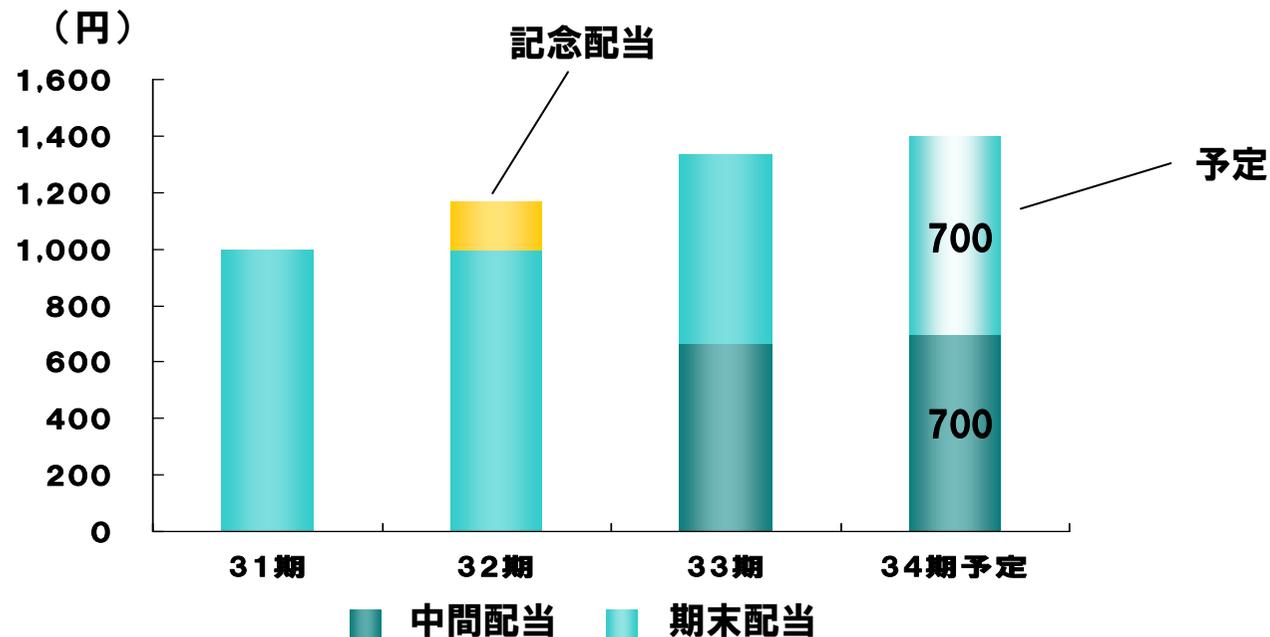
【営業利益・利益率】



(参考) 配当方針

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

(注)34期予定は、平成20年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。



(注)08年4月1日付で、1:3の株式分割を実施しております。上記グラフでは、過去との比較を容易にするため、06/3期から08/3期の配当金額を便宜上3分の1にして表記しております。

(参考) 財務情報(実績と予想)

(注)34期予想は、平成20年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。

(単位:百万円、%)

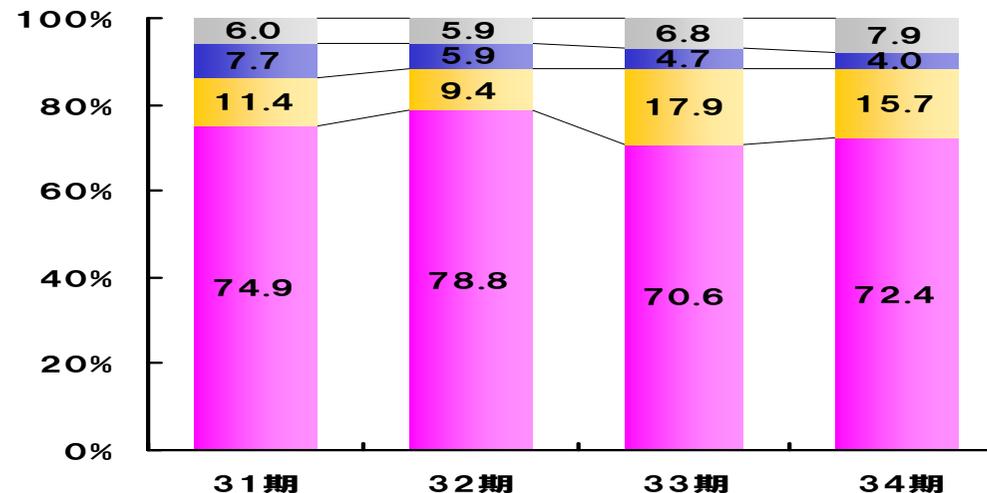
	31期	32期	33期	34期予想	
				金額	増減率
売上高	19,147	23,337	28,235	28,187	△0.2
(海外売上高比率)	60.8%	67.8%	69.8%	—	—
営業利益	676	1,158	1,959	740	△62.2
経常利益	785	1,305	1,710	895	△47.7
当期純利益	377	771	984	486	△50.6
設備投資額	714	1,029	1,765	1,599	△9.4
研究開発費	1,035	1,184	1,192	1,339	12.3
為替レート	米ドル	113.32円	117.03円	114.28円	105.00円
	ユーロ	137.86円	150.09円	161.52円	152.00円

(参考) 機種群別売上高・構成比

(注)34期予想は、平成20年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。

(単位:百万円、%)

	31期	32期	33期	34期予想	
				金額	増減率
SG市場向け	14,336	18,387	19,950	20,405	2.3
IP市場向け	2,177	2,180	5,041	4,414	△12.5
TA市場向け	1,480	1,385	1,327	1,138	△14.3
その他	1,153	1,384	1,918	2,230	16.4
合計	19,147	23,337	28,235	28,187	△0.2



本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

IR・広報部

TEL 0268 (64) 2281

E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。